

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援室STEP			
○保護者評価実施期間	2026/3/2		～	2026/3/21
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	2026/3/23		～	2026/3/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026/4/15			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「こどものいいところに注目し、楽しくほめながら支援を行う」「好きなことを活用する」といった支援の基軸が整ってきている。	支援終了後の振り返りの場や、定期的な会議をとおして、理念や支援方法を共有している。 支援目標や支援方法を「具体的に(行動的に)」することを心がけ、好きなこと探しを全員で行うようにしている。	新しい職員に対して、研修を十分に行う。
2	職員配置を手厚く行い、こどもの実態に応じて、個別支援と集団支援を組み合わせで行っている。	利用しているこどもの状況にもよるが、なるべくこどもに対する職員の比率が1対1で配置できるようにしている。 その日の活動計画を必ず作成し、日ごとに細かく担当を決めたり、支援方法や支援内容を十分に共有するようにしている。	長期的な視点に立って、職員の採用や育成を進め、支援が継続できるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との情報共有・連絡事項のやりとり等について、現在のやり方ではスムーズにできない点があり、利便性の向上が必要。	連絡ノート(筆記)、webサービスを通じた写真の公開・共有、欠席連絡や施設からの連絡事項の一斉配信に使うアプリ、と3つの方法が混在している。 保護者から施設への連絡について、デジタルで行うやり方が分かりにくい。	アプリの一元化など、保護者にとって使いやすいサービスを検討する。
2	他機関との連携が十分にできていない。	STEPでの支援の取り組みについて、十分に周知できていない。 他機関との関係作りを行う努力が不十分。	他の支援機関との交流、所外への発信などに力を入れる。 情報共有の場を設けられるよう、当所から他施設に働きかける努力が必要。
3	ベテラン職員がいる一方、新規職員の育成が十分に進んでいない。	人員不足等により研修機会の確保が不十分。	定期的な会議の場で、積極的な参加を促したり、短時間での所内研修を積み重ねられるようにする。